

メタバース採用説明会 市原市

市原市は27日、インターネット上の仮想空間「メタバース」で、来年4月入庁職員向けの採用説明会を開く。初めての試みだという。自身の分身であるアバターが会場に向くという気軽さを演出しつつ、市職員とのオンライン会話を通じ、市への理解を深めてもらう狙いだ。

市は産官学で連携し、メタバースを行政に活用することを目指している。メタバースを使って行政と市民



消防職の説明会で使用するメタバース上のルーム

らとの接点を増やすことを目的に、千葉商科大学、NIT東日本と共同で実証試験に取り組んでおり、説明

会もその一環だ。

27日の説明会は事務、土木、保健師、消防の計4職種に分かれて実施する。いずれも定員は先着10人で、募集はすでに締め切った。メタバース上に職種別の専用部屋（ルーム）を用意している。参加者は仕事内容を紹介した動画を見たり、先輩職員にその場で質問したりできる。

市はこれまでウェブ会議システム「Zoom（ズーム）」による説明会も開いてきたが、一度に約80人が出席し、参加者が発言しにくかったという。メタバースを導入して定員も絞り、市職員との対話を活発化させたいとしている。